

●ボランティアリーダー育成事業

ボランティア・NPO活動センターでは、本学の学生を対象に、ボランティアリーダーの育成を目的とした講義やワークショップを行っています。入門コース「ボランティア入門講座」は、ボランティアについての基礎的な講義を経て実際にボランティア体験まで行う一連のプログラムで、ボランティア初心者の学生向けに実施しています。また、応用コース「ボランティアリーダー養成講座」は、センターを運営する学生スタッフのスキルアップや組織運営を対象にした内容となっています。

○ボランティアリーダー育成講座 入門コース「ボランティア入門講座」

報告者名	宇田 朗子 (瀬田キャンパス コーディネーター)	
	深草キャンパス日時／参加人数	瀬田キャンパス日時／参加人数
第1回	5月29日(木)17時00分～18時30分／34人	5月20日(火)17時00分～18時30分／37人
第2回	6月12日(木)17時00分～18時30分／23人	6月17日(火)17時00分～18時30分／41人
第3回	2008年6月中旬から8月上旬まで随時／参加者60人・引率学生スタッフ7人	
実施主体	ボランティア・NPO活動センター	

■経緯・目的

従来より、ボランティア・NPO活動センターの学生スタッフがボランティアコーディネーションに必要な知識やスキルを身につけるための研修として座学を行ってきました。しかし、現状はボランティア活動に関心はあるが、いきなり団体の活動に入っていくことに不安や抵抗のある学生が多く、そのような学生たちを実際のボランティア活動へつなぐため、ボランティアについての概論を学ぶだけでなく、地域の現場で実践するまでのプログラムを作りました。また、今年度は、ボランティアリーダー育成講座の対象をボランティアに関心のある一般学生にまで広げ、より多くのボランティアリーダーを育成することを目指しました。

■概要

第1回・第2回では、ボランティア活動の成り立ちやどのようなボランティア活動があるのかなど、ボランティアについての基礎的な事柄を講義形式で学び、第3回では実際に地域の団体でボランティア体験をしようという内容です。

【第1回】『ボランティアって何だろう？』

講師：ボランティア・NPO活動センター副センター長 筒井 のり子氏 (龍谷大学 社会学部 教授)

内容：ボランティアって？語源や活動の範



囲などをワークを通して分かり易く説明します。

【第2回】『NPO・NGOって何だろう？』

講師：深草 京都市民活動総合センター 田口 美紀氏

瀬田 (財)淡海ネットワークセンター 事務局長 浅野 令子氏
深草／瀬田 NGO相談員 藤野 達也氏

内容：最近よく耳にするNPOとNGO、それぞれどのようなものなのでしょうか？実際の現場で活躍する方を講師に、さまざまな活動の事例を学びます。

【第3回】体験プログラム (事前ガイダンス～ボランティア体験～ふりかえり)

体験先／内容：

① **国際系** ホスの会／在日コリアンのデイサ

ービスセンターでのイベント手伝い

- ② 国際系 (財) 京都府国際センター／京都の国際協力団体が活動紹介をするイベント「国際協カステーション」の手伝い
- ③ 福祉系 (高齢者) みちくさ／高齢者介護施設での日常のくらしを支援
- ④ 福祉系 (障がい) (社福) にぎやか会／障がいを持つ子どもと一緒に遊ぶ
- ⑤ 福祉系 (障がい) タイムケアれいんぼう／障がいを持つ中高生の話し相手や散歩の付き添い
- ⑥ 福祉系 (子ども) (特活) 山科醍醐こどものひろば／子ども向けプログラム運営の手伝い
- ⑦ 福祉系 (子ども) (社福) 塔南の園児童館／児童館に通う子どもとの遊びや見守り
- ⑧ 環境系 (特活) 森の風音／瀬田キャンパス付近の竹林での笹伐採および地域の七夕イベント運営の手伝い



■コーディネーター所感

今年度、初の試みとして、ボランティアリーダー育成講座に、登録学生スタッフのみならず、一般学生の参加を募りました。「百聞は一見にしかず」、実際に現地へ飛び出し体験することがこの講座の大きな特色であり目玉となっています。

今回、ご協力いただいた8つの団体の選出基準としましては、深草、瀬田各キャンパス近隣（今後も継続的に活動が期待されるため）、国際／福祉／環境の3分野に関わりのある団体に絞りました。

各団体には、ボランティア初体験の学生達を温かく迎えてくださり、大変お世話になりました。

ボランティア体験後のふりかえりでは、「一回だけでは、団体の方と信頼関係がまだ芽生えておらず、うまくコミュニケーションが取れなかった」という意見が多出し、その結果、充実したボランティア活動には、継続性が大事であると学んだようです。

全3回（座学2回、体験1回）の参加者には、修了証を発行、この講座が地域でのボランティア活動の第一歩になるよう願っています。

今後もボランティア・NPO活動センターがボランティアの裾野を広げる役割を担えるよう、より良いボランティアプログラム開発を目指します。

○ボランティアリーダー育成講座 応用コース「ボランティアリーダー養成講座」

報告者名	ヒギンズ 尚美 (深草キャンパス コーディネーター)	
	深草キャンパス日時／参加人数	瀬田キャンパス日時／参加人数
第1回	6月19日(木)17時00分～18時30分／12人	6月24日(火)17時00分～18時30分／18人
第2回	7月3日(木)17時00分～18時30分／11人	7月8日(火)17時00分～18時30分／19人
第3回	12月3日(水)17時00分～19時00分／10人	11月27日(木)17時00分～19時00分／12人
第4回	12月10日(水)17時00分～19時00分／11人	12月11日(木)17時00分～19時00分／16人
第5回	両キャンパス合同：2009年3月23日(月)13時00分～16時00分・47人	
実施主体	ボランティア・NPO活動センター	

■経緯・目的

ボランティア・NPO活動センターでは、運営の一翼を担う学生スタッフを対象に、ボランティアリーダーの育成を目的として研修

を毎年行っています。今年度は新たな試みとして、ボランティアについて体系的に学べるように入門コース「ボランティア入門講座」とこの応用コース「ボランティアリーダー養成

成講座」に分けました。ボランティア経験の少ない新入生スタッフは入門コースで基礎的な事柄を一般学生と共に修得し、応用コースでは1、2回生の学生スタッフ全員（3回生以上は任意）が、当センターの根幹であるボランティアコーディネートを推進していく上で必要なコーディネーターとしての役割や心構え、組織運営に必要な考え方やスキルなどを学んでいく内容としています。

■概要

【第1回】

『ボランティアコーディネートについて～

ボランティア相談（面接）の受け方～』

講師：夙川短期大学 南 多恵子氏

内容：コーディネーターにとって必要不可欠な面接のスキルについてロールプレイを通して学びます。

【第2回】

『ボランティアへの興味を引き出す企画作り』

講師：（特活）ユースビジョン

事務局長 芝原 浩美氏

内容：企画作りの基本的な手順や留意点を講師にお話いただき、ニーズに応えられる魅力のある企画作りを講義やグループワークなどを通して学びます。

【第3回】

『うちのボラセン何であるの？

～大学ボランティアセンターについて考えてみよう～』

講師：（特活）ユースビジョン

代表 赤澤 清孝氏

内容：大学ボランティアセンターの役割、学生スタッフの存在やコーディネートの必要性について考えます。

【第4回】

『組織運営って何？～みんなでボラセンをつくっていくために～』

講師：（特活）ユースビジョン

代表 赤澤 清孝氏

内容：現3回生から2回生への代替わり次期にあたり、スタッフの意識の共有など組織のあり方について考えます。

【第5回】

『ファシリテーション研修』

講師：人まちファシリテーション工房

代表 ちょん せいこ氏

内容：簡単なアイスブレイクや、ミーティング運営方法を中心としたファシリテーションの導入部分を学びます。

■コーディネーター所感

様々な分野の知識をつける目的で、環境・国際・福祉など各分野で活動されている方を講師に迎えて、その現状や課題についてお話しいただくことが多かったのが従来のリーダー育成講座でした。この応用コースでは、大学ボランティアセンターの学生スタッフとしての心構えやスキルアップ、組織のあり方など運営面に内容を絞り込んだ構成にしたことで、学生スタッフ向け講座の本来の形になったと思います。今後も体系だった学生スタッフの育成を目指すため、更に内容を検討していきたいと考えています。

今回、研修後に学生スタッフへアンケートを実施したところ、「ボランティアという言葉に魅かれて、当センターの学生スタッフの役割を正しく理解せず登録し、この講座で初めてその存在意義を認識できた」という感想などもありました。このことから今後の課題として、登録時は既存の学生スタッフによる活動紹介だけでなく、センターのミッションや学生スタッフの役割などを丁寧に説明し、「自分自身がボランティアをしたい」のか「学生スタッフになってボランティア活動を応援したい」のかという、コーディネーターによるスクリーニング機能も兼ねたガイダンス





スの重要性が感じられました。

また、「講座の実施時間帯が5限目の授業と重なるため出席できない学生向けに録画対応もしたものの、DVD学習の徹底が難しい上に、リアルタイムの聴講に比べてワーク

などが体験できないため実感が得られにくいのが実情であり、今後は欠席した学生スタッフへのフォローアップをどうするのかという課題が残りました。

前年度までの内容からシフトチェンジし、学生スタッフの意識向上に繋がるという一定の効果を得られましたが、その一方で、真のリーダー育成という意味では多様な社会課題に目を向けるという従来の内容も必要です。また、ファシリテーション講座などはセンターの学生スタッフだけでなく、サークルなどのグループミーティングなどにも有効であることから、今後は社会問題やボランティア活動に関心の高い一般学生も含めた形で『ボランティアリーダー養成講座』も実施し、学生スタッフのスキルアップ研修は講座という形ではなく定期的に行っていければと思います。